

パブリックコメントの実施結果

小牧市中心市街地グランドデザインパブリックコメント（案）について、以下のとおり意見募集を行いました。

1 意見募集期間

令和 4 年 2 月 9 日（水）から
令和 4 年 3 月 10 日（木）まで

2 意見募集の周知方法

- (1) 広報こまき 2 月 1 日号
- (2) 市ホームページ
- (3) SNS（LINE）

3 資料閲覧場所

- (1) 市ホームページ
- (2) 都市計画課（東庁舎 2 階）
- (3) 情報公開コーナー（本庁舎 1 階）
- (4) 東部・味岡・北里の各市民センター及び各市民センター図書室
- (5) ゆう友せいぶ、ふらっとみなみ

4 提出された意見の件数

1 1 名より計 1 1 件

(参考)意見提出方法の内訳 (単位：人)

提出方法	郵送	メール	ファックス	持参	計
人数	0	4	6	1	11

5 実施結果の公表

広報こまき「4 月 1 日号」及び上記「3 資料閲覧場所」において実施結果を公表します。

公表期間

冊子（窓口）：令和 4 年 3 月 30 日～令和 4 年 6 月 30 日

市ホームページ：令和 4 年 3 月 30 日～令和 5 年 3 月 31 日

6 提出された意見と市の考え方について（内容）

No	意見	意見に対する市の考え方
1	<p>P.18「公共交通の利便性を活かしたまちづくり」に、名鉄小牧線のポテンシャルをさらに活かすため、交通結節点機能を強化するなどして、利便性の向上を図ることが重要とありますが、名鉄小牧駅を交通結節点として機能強化することと、名古屋市内へのアクセスを強化するうえで、小牧駅以北の電車の運行間隔を10分程度に短縮することも重要であると考えます。（今回は小牧駅以北の名古屋市内へのアクセスは関係ないですが）</p> <p>P.20の最右欄の真ん中の「マンション等の建設促進」については大いに賛成で、このマンションに日常的な食料品、生活用品等が購入できるスーパー、コンビニと医療施設などの複合機能を持たせたマンションが建設されると高齢者にとってはとても住みやすい環境ができると考えます。</p> <p>これは、P.21、P.28の住みたいまち、施策2-1まちなか居住の推進、さらにはP.33の民間活力を活かしたまちづくりの推進にも関わってくるかと思えます。</p>	<p>公共交通に関しましては、施策3-3①（P.32）に示す取組にあるとおり、名鉄小牧線による中心市街地へのアクセス性の向上として平安通駅以南の延伸を推進することとしています。ご意見いただきました名鉄小牧線小牧駅以北の増便につきましては、現在の単線の状況では増便が困難であることから、「名鉄小牧線全線複線化と名古屋市営地下鉄上飯田線早期延伸促進期成同盟会」等により、平安通駅以南の早期整備促進の要望と併せて、名鉄小牧線の全線複線化及び高架化の促進の要望を各方面に引き続き要望してまいります。</p> <p>また、マンション等の建設促進に関しましては、施策2-1①（P.28）に示す多様な手法による住宅供給の取組の中で検討してまいります。</p>
2	<p>是非、本格的なギャラリーの建設をお願いします。場所は、小牧山がいいと思えます。</p> <p>春日井市フォーラムのギャラリーはやっぱり羨ましいと思えます。</p> <p>小生、10回の個展と多くのグループ展示をして来ました。</p> <p>そのときは、要望（提案）もありますので協力したいと思います。検討よろしくお願いたします。</p>	<p>小牧山につきましては国の史跡に指定されており、ギャラリー等の施設を新たに建設することは難しいですが、令和4年度以降に文化活動や学びの拠点である市公民館において展示場等の改修を予定しており、展示機能を充実させるなどして多様なニーズに対応できるようにしてまいります。</p>

3	<p>玄関口の小牧駅～小牧山まで1.5 km程の距離がありますが、現在は既に市街化していて、これから魅力ある施設を設けたりするのは容易ではないと思いますが、図書館や未来館を活かさないと考えます。</p> <p>歩いて楽しめるには、犬山城みたいな安全な道の確保、散策路の整備が必要です。その為に未来館から小牧山の資料館まで（約1 km）空中遊歩道を設けるか、空中散歩をもっと楽しめるゴンドラ（キャビン）を設けてはどうかと思います。→市街地の魅力度アップ。</p> <p>散策路の整備では、今の商業機能、施設を生かしながらショッピングをしたり、城下町的な雰囲気を感じさせる街並みにして癒しの場所を提供しアピールしていく。</p>	<p>ご意見のとおり、中央図書館やこまきこども未来館などを拠点とし、これらの拠点を市の玄関口である小牧駅から小牧山までのエリアで面的につなげていくことが重要であると考えており、施策1-1（P.25）に記載しております。ご提案いただいた空中遊歩道やゴンドラ（キャビン）はまちづくりのアイデアとして参考とさせていただきます、既存の商業機能や歴史資源などを歩いて楽しめる空間としての整備は今後の具体的な取組の中で検討し推進するとともに、中心市街地の魅力を伝えるための情報発信を強化していきます。</p>
4	<p>街に賑わいを持たせるのに重要なのは、やはり店の存在だと思います。美味しい料理屋、お酒落なカフェ、旨い酒が飲める酒場、欲しいものが売っている物販店。これらをどれだけ集められるかにかかっていると一言でも過言ではありません。店を誘致するという内容がありましたが、ならば街をデザインし、ふさわしい店をスカウトする、バイヤーのような存在がいた方が良くと思います。</p> <p>交通機関では上飯田線の延伸がありましたが、これは可能であれば最優先で実現してほしいと思います。</p> <p>観光客誘致は果たして小牧という町に必要なのかわかりませんが、もしするなら信長が築いた小牧山城の完全再現が一番有効だと思います。</p>	<p>ご意見のとおり、まちの賑わいを創出するためには特色ある店舗の集積も重要だと考え、「活力があるまち」の施策にも記載（P.31）しており、あわせてご提案いただいた店舗の集積方法や交通・観光の内容も含めまして、今後の具体的な取組を検討していく際に参考とさせていただきます。</p>
5	<p>資料「市中心市街地グランドデザイン」（案）を手にして思うのは、カタカナが多いことです。漢字・ひらがなで表現すれば幅広い年齢層の人たちがより一層の理</p>	<p>ご意見のとおり、幅広い年齢層の方に分かりやすい計画とするため、カタカナ表記等につきましては計画書の巻末に用語解説を掲載いたします。</p>

	<p>解を深めることができるのではないかと思います。カタカナを使用の場合には語訳を書き加え、一般市民が理解にとまどうようなカタカナ用語は最小限にしてください。</p> <p>「パブリックコメント」の内容もよくわかりませんが、パブリックコメントの中だけで意見を聞くのではなく直接市民の意見も聞いてください。</p> <p>中心市街地まちづくりは駅前開発を延長して小牧山への周辺地域へと。旧図書館跡地はその中でたった一つの広場として残したい場所です。小牧山のふもとに広々と開けた市民の憩いの場、運動場として自由に利用することができる広場です。建物（飲食するなどの）はいりません。</p>	<p>パブリックコメントに関しましては、計画案に対して、市民の皆様から幅広く意見をいただき、その意見に対して市の考え方を示し公表していく一連の手続きであります。本計画案の作成にあたっては公募により幅広い年代の方に参加いただいたワークショップや、また、関係団体、公募委員からなる策定委員会を開催してご意見をいただきながら計画案をまとめております。今後の計画の推進につきましても、様々な方の意見をお聞きしながら進めてまいりたいと考えています。</p> <p>旧図書館跡地の利活用案につきましても、ご意見のとおり市民の憩いの場としての利用は重要であると考え、施策1-3④（P.26）に記載したとおり人々が立ち寄り、憩い、交流できる公共空間として公園整備の検討・推進をすることとしています。また、ワークショップや策定委員会においては、中心市街地の課題として「飲食する場所が少ない」ことが挙げられておりますので、民間活力を導入することにより、立地が可成であれば公園の機能に加えて飲食機能の導入についても検討を進めてまいります。</p>
6	<p>1 中心市街地グランドデザインの基本コンセプトに関して</p> <p>① 旧図書館跡地を含めた小牧市中心市街地を「観光のために利活用する」という基本コンセプトからは、早々に脱却した方がよいと考える。では、どういうものが必要なのかというと、一言でいえばそれは、「地域住民の暮らしを豊かにするために利活用する」という基本コンセプトでなければいけないと考える。</p> <p>率直に言って、「小牧市は観光資源が豊かである」とは言い難く、</p>	<p>1 中心市街地グランドデザインの基本コンセプトに関しましては、本計画では「訪れたいまち」、「住みたいまち」、「活力があるまち」という3つの目指す姿を柱として掲げ、まちの将来像である「小牧山や中心市街地の魅力を活かし歩いて楽しめる活気あるまち」の実現を目指すこととしており、観光に特化したものとはしておりません。</p> <p>2 具体的に考えられること</p> <p>①のご意見につきましても、歩</p>

<p>全国的には知名度もない」と言える。ここでは詳しくは書けないが、隣市の犬山市と比較すれば、それは容易に想像できるのではないか。言い換えれば、外需に頼った「観光立市」は幻想でしかないことを率直に認める必要があると考える。そしてその上で、大きく言えば、「観光の小牧市」から「歴史・文化と自然を守り育て、それを付加価値として、豊かで暮らしやすい・住みたくなる小牧市」へと転換することが必要ではないかと考える。そして、「外部からの観光客」＝「外需」に頼るのではなく、若者にとっても高齢者にとっても住みやすい市にすることで、市内の居住者も増やし、「内需」を増やす。そして、「内需」を増やすことで、商業も含めてさまざまな分野においても好循環を目指すことこそ必要ではないかと考える。</p> <p>② 「シンボルロード」は、地域（中心市街地）最大の緑地である小牧山と小牧駅とを結ぶ重要な緑道でなければならない。それは、車優先でなく人優先の地域社会ネットワークづくりのための重要な緑道でなければならない。人優先の地域社会とは、公園や小牧山などの緑地だけでなく、市役所・市民病院・保健センター・図書館・市民会館・公民館などの生活に必要な公的施設、及び小牧小・小牧中・小牧高などの学校や保育園などの教育・保育施設などを安全・快適な緑道で結び、子どもを含めた地域住民が、安全・快適に生活できる地域ネットワークづくりを目指すべきものと考えられる。高齢化社会においては、なおさらそれが求められていると考える。そういう視点で、今回の中心市街地グランドデザインと図書館跡地利用についても考えたいと思う。</p> <p>2 具体的に考えられること</p> <p>① まず、1 で書いたように、</p>	<p>いて楽しむまちなかは中心市街地の将来像としても掲げており、本計画 P.24 に記載のとおり小牧駅から小牧山までのエリアを面的につなげ、歩いてみたくなる回遊性のあるまちなかを目指すこととしています。また、施策 1-3 (P.26) の取組にありますように、既設のインフラを活用して歩いて楽しい歩道ネットワークを構築していくこととしています。</p> <p>2 具体的に考えられること</p> <p>② のご意見につきましては、P.33 に記載したとおり本計画の推進・実現に向けて民間活力を活かしたまちづくりを推進することとしており、旧図書館跡地利活用に係るサウンディング型市場調査においても事業性があることが確認できたため、施策 1-3 ④ (P.26) に記載したとおり、民間活力を導入した公園整備の検討及び推進をすることとしており、「ミニマルシェ」等につきましては、事業検討の際の参考とさせていただきます。</p>
--	---

小牧駅と小牧山だけでなく、小牧駅と市役所・保健センター・図書館・市民会館などの各施設、学校などの教育・保育施設、及び小牧山・公園などの緑地を安全な緑道でそれぞれつなぎ、安全・快適な生活ができる動線とすることである。そしてシンボルロードなどのそれらの動線からは、様々な工夫によって、できる限り車の進入を排除することが必要であろう。高齢化で車の利用が難しくなっても、生活がしやすい地域ネットワークづくりを目指したい。

② 次に、例えば旧図書館跡地の利活用についてである。この具体的な利活用については、サウンディングによる民間事業者の意見においても、「カフェや公園」程度のものしか出されていなかった。私は小牧中心市街地に住んでいるわけではないので、地域住民からはもっと多様な要求が出てしかるべきと思うが、私の立場から考えられることを少し書きたい。

まず言いたいのは、市有地の実質払い下げのような、完全民間移譲はやめてほしいということである。仮に地域住民の要求でカフェ的なものを作るにしても、あくまでも市民・学生の企画で市の管理下で作るとか、現在もやっているかもしれないが、キッチンカーである程度自由に使えるようにするなど、方策はいろいろあるだろうと思う。

また、旧図書館跡地と他施設等への緑道の整備を前提として、緑地・公園として利活用するというのも、現実的な在り方だと思う。

さらに言えば、本来旧図書館を取り壊さずに再利活用する場合は、「アートミュージアム」「歴史資料館」「図書館分室」「学習会議室」「研修集会室」「コンサート・シアター・寄席等多目的ホール」「こども食堂」「障がい者支援カフェ」「ミニマルシェ」な

	<p>ど、様々な利活用の住民意見が出されていたと聞いている。スクラップアンドビルドは現実的でないかもしれないが、少なくとも、この中で「ミニマルシェ」などは、利活用の方法としては、十分現実的に考えられるものだろう。</p> <p>以上検討していただきたい。</p>	
7	<p>小牧駅界限は、本当に人通りが少ないです。新図書館、こども未来館が出来たのにも関わらず、です。</p> <p>そして、この度中心市街地グラウンドデザインという計画が出され、業者や商工会議所などで案が出されたと聞きます。そのこと自体どうなのかと思えます。まして、旧図書館を壊し、その跡地利用の計画もない(?)全くおかしな話だと思えます。</p> <p>私は、今でも残せるなら図書館(素敵なデザイン)を壊してほしくないです。あの建物をリフォームして市民の為に利用するのならともかく、跡地には何もつくりたくないでほしいです。</p> <p>あえて言わせていただくなら、広い公園、市民の方のアイデアでどんな風にでも使える様な緑が多く小牧山が望める、そんな景観を残してほしいです。</p>	<p>本計画案の作成にあたっては公募により幅広い年代の方々に参加いただいたワークショップや、また、関係団体、公募委員からなる策定委員会を開催してご意見をいただきながら計画案をまとめております。</p> <p>なお、旧図書館閉館後の建物の利活用については、数年かけて検討しましたが、改修費用が高額になることや図書館という用途に特化した構造であり転用がしづらいこと、バリアフリー化に問題があることなどから、断念をしたものであります。そして、利活用しない状況のまま長期間施設を存続させることは、周辺環境への悪影響が懸念されることから、非常に残念ですが、取り壊しを行うこととしたものであります。</p> <p>その後の旧図書館跡地の利活用案につきましては、施策1-3④(P.26)に記載したとおり人々が立ち寄り、憩い、交流できる公共空間として民間活力を導入した公園整備の検討・推進をすることとしています。</p>
8	<p>シンボルロードは沿道を小牧駅から歩くとラピオ、中央図書館、飲食店は少ないですが、地元の商業施設が並び、神社仏閣に繋がって、旧図書館跡地に出て小牧山に辿りつきます。小牧山へは市内外の人がたくさん訪れています。</p> <p>小牧市の入口の小牧駅から小牧山まで一筋に繋がっていますので、新しく飲食店を入れると</p>	<p>シンボルロードにつきましては、施策1-3(P.26)で歩道の利活用や歩きたくなる空間を創出することとし、施策2-2(P.28、29)で緑化を推進することとしています。いただきました具体的な提案につきましては、今後、取組を検討していく際に参考とさせていただきます。</p> <p>旧図書館跡地の利活用案に</p>

	<p>か、その他のお店を考えるより、シンボルロードの沿道の両脇は桜の木を植えて「桜ロード」にしてはどうでしょうか。道路も車道と歩道だけではなく、自転車道もつくり、歩く人も自転車の人も安心して動けるようにする。1ヶ月に数回は遊歩道にしても良いと思います。そして、従来の沿道の人にも参加してもらってマルシェを開催してはどうでしょうか。</p> <p>小牧山近くの旧図書館跡地は芝生や四季のお花などのガーデンとして、誰もが憩えるスペースにしてほしいと思います。南側旧図書館建物跡には、市民が自由に利用し、自分たちの企画で使えるような建物を建ててほしいです。</p> <p>小牧山や沿道の桜並木を見ながらほっと一息できる小さなカフェが一角にあると良いと思います。</p> <p>また、旧図書館跡地に建てる建物については、新たに市民の意見を聞いてもらいたいと思います。</p>	<p>つきましては、施策1-3④(P.26)に記載したとおり人々が立ち寄り、憩い、交流できる公共空間として公園整備の検討・推進をすることとしています。また、ワークショップや策定委員会においても、中心市街地の課題として「飲食する場所が少ない」ことが挙げられておりますので、民間活力を導入することにより、立地が可能であれば公園の機能に加えて飲食機能の導入についての検討を様々な方の意見をお聞きしながら進めてまいります。</p>
9	<p>1. 小牧市の中心市街地の活性化を考えるにあたって、小牧駅東側も1キロぐらい、イオンまでぐらゐも一緒に考えて、市役所～イオンをぐるぐる回るバスとかを作りたい。こちらは、近隣商業地域なので、いろいろなものが作りやすい。</p> <p>2. 市民が小さいビジネススタートできるような工夫。子供は親が言うようにはしないけど、やるようにやってしまう。夢実現は大人から。まなび創造館や市のホールをマルシェや物販ができるようにしてほしい。こまき新産業振興センターの充実。創業セミナーなど、ただ、1つのセミナーと新しいビジネスの融資のお世話だけでなく、継続的にサポートとか、コミュニティ作りの工夫を。指定管理者なども、遠くの企業ではなく小牧の経営者を育てる協力をお願いしたい。</p>	<p>1. および3. の意見につきましては、本計画ではP.24に記載のとおり、小牧山やこども未来館、中央図書館など既存の地域資源や公共施設を活用し、その拠点を含むエリアを面的につなげることで回遊性のあるまちなかを目指すこととしていますが、今後、計画を推進していく中でエリアの範囲拡大の必要性に応じて検証を行ってまいります。</p> <p>2. の意見につきましては、P.31に記載のとおり「活力があるまち」で活性化を担うヒトがチャレンジしやすい仕組みを構築することとしており、施策3-1、施策3-2(P.31)の取組の中で推進してまいります。</p> <p>また、いただきました具体的な提案につきましては、今後、取組を検討していく際に参考とさせていただきます。</p>

	<p>3. 小牧東の遊歩道と、その周りの活性化、小牧駅に歩ける範囲を楽しい街に。小牧西は第一種中高層住居専用地域が広く大きい事務所や店舗は難しい。</p> <p>4. 素晴らしい庭園の中に、植物のエネルギーの癒しを中心としたヒーリングで自分を取り戻し、新しい自分の夢を実際に叶えていくような施設を作りたいので協力してほしい。</p>	
10	<p>この計画案をどれだけの方が知っているのでしょうか。色々なことが知らされないまま進められている気がします。(パブリックコメントだけではなく、もっといろいろな方法で市民に知らせる方法を考えてください。)</p> <p>旧図書館もまだ使用できるのに、また、こわした後の計画もないのに先に壊してしまう。おかしいと思いませんか。</p> <p>跡地の使い方やそのまわりの開発などは今後もぜひ市民からもアイデアを出してもらったりしながら市民のためのものにしてほしいと願います。</p>	<p>本計画案の作成にあたっては公募により幅広い年代の方に参加いただいたワークショップや、また、関係団体、公募委員からなる策定委員会を開催してご意見をいただきながら計画案をまとめております。</p> <p>旧図書館閉館後の建物の利活用については、数年かけて検討しましたが、改修費用が高額になることや図書館という用途に特化した構造であり転用がしづらいこと、バリアフリー化に問題があることなどから、断念をしたものであります。</p> <p>そして、利活用しない状況のまま長期間施設を存続させることは、周辺環境への悪影響が懸念されることから、非常に残念ですが、取り壊しを行うこととしたものであります。</p> <p>その後の旧図書館跡地の利活用案につきましては、施策1-3④(P.26)に記載したとおり人々が立ち寄り、憩い、交流できる公共空間として公園整備の検討・推進をすることとしています。また、ワークショップや策定委員会においても、中心市街地の課題として「飲食する場所が少ない」ことが挙げられておりますので、民間活力を導入することにより、立地が可成であれば公園の機能に加えて飲食機能の導入についての検討を様々な方の意見をお聞きしながら進めてまいります。</p>

<p>11</p>	<p>これまで何回も絵を描いてきた中心市街地の活性化計画。その基本的な考え方は賑わいでありました。今回 SDGs 未来都市に指定され、その達成に寄与する取組を進める事と関連させたまちづくりとあります。</p> <p>誰もが集まりやすく、魅力ある街。派手な建物は必要ありません。駅前の新図書館、西に小牧山。それを結ぶシンボルロードは、緑豊かな自然に囲まれ、小牧の歴史に思いをはせながら、癒しを求めて人々が行きたくなる場所であってほしい。ぶらりと歩けば新しい発見ができる場所であってほしい。人が集まれば自然に店もできるはず。</p> <p>かえすがえすも旧図書館の解体は残念な選択です。小牧の歴史を体感できる空間、公園として残してほしい。</p>	<p>旧図書館閉館後の建物の利活用については、数年かけて検討しましたが、改修費用が高額になることや図書館という用途に特化した構造であり転用がしづらいこと、バリアフリー化に問題があることなどから、断念をしたものであります。そして、利活用しない状況のまま長期間施設を存続させることは、周辺環境への悪影響が懸念されることから、非常に残念ですが、取り壊しを行うこととしたものであります。</p> <p>その後の旧図書館跡地の利活用案につきましては、施策1-3④(P.26)に記載したとおり人々が立ち寄り、憩い、交流できる公共空間として民間活力を導入した公園整備の検討・推進をすることとしています。</p>
-----------	---	--